

はばたけ新成人

二十歳の決意

1月4日(木)、日高町中央公民館において、平成30年日高町成人式を執り行いました。

式典には、新成人85人のうち66人(男子33人、女子33人)が出席し、大人への第一歩を踏み出しました。

松本町長が式辞で「昨年はクヌッセン機関長遺徳60周年を迎えた年であり、デンマーク王国において、フレデリクスハウシ市と友好交流提携の覚書を交わして、友情と尊敬を深めることを約束致しました。他人を思いやること、人の命を大切にすることなど、人々の思いや行動が、国と国、人と人とを結びつけるとつくづく思いました。新成人の皆さんも情熱と希望を持って、何事にも失敗を恐れず、一度しかない人生を心豊かに歩んでいただくことを願っております」と激励。来賓の方々からもたくさんのお祝いの言葉が贈られました。



新成人を代表して、野上結衣さんに記念品が贈呈されると、山澤優さんが謝辞で「皆様から頂いた意義深い教訓を胸に刻み、社会という大海に、胸を張って船出していききたいと思えます。本日の感激を胸に、等しく成人としての自覚を新たにし、大人社会の一員としてベストをつくす所存でありますので、よろしくお願い致します」と、新成人としての決意を述べました。ノンアルコールのシャンパンで乾杯したあと、同館前で船代颯人さん合図のもと「門出」の花言葉があるスイートピーの種入りの風船を飛ばし、今年から設置されたフォトプレイスなどで記念撮影をして新たな門出を祝いました。



